

松戸市立病院建替計画検討委員会会議記録

- 1 日 時 平成22年10月18日(月) 17時3分 開会
- 2 場 所 市役所新館5階市民サロン
- 3 出席委員
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 山浦 晶 |
| 副委員長 | 伊関 友伸 |
| 委員 | 岩堀 幸司 |
| 委員 | 高橋 功一 |
| 委員 | 山口 卓秀 |
| 委員 | 植村 研一 |
| 委員 | 江原 正明 |
| 委員 | 岩井 直路 |
- 4 傍聴者 日刊建設新聞、日刊建設工業新聞、東京新聞、読売新聞、朝日新聞、日刊建設通信新聞他4名
- 5 議 題
- 1) 松戸市立病院建替計画検討委員会設置要綱(案)について
 - 2) 委員長及び副委員長の選出について
 - 3) 市民公募委員の選考基準について
- 6 会議経過及び概要

病院建設事務局長

それでは、これより松戸市立病院建替計画検討委員会を開会いたします。

(1) 松戸市立病院建替計画検討委員会委員の委嘱について

病院建設事務局長

まず、委嘱状並びに辞令の交付を行います。

(委嘱状並びに辞令の交付)

(2) 市長挨拶

病院建設事務局長

続きまして、本郷谷市長よりご挨拶を申し上げます。市長お願いいたします。

市 長

どうも今日はお忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。市長の本郷谷健次でございます。よろしくお願いいたします。今、委嘱をさせていただきました。お受けいただきまして、本当にありがとうございます。大変お忙しい中、それからまた色々課題を持ちながら、大変だと思いますが、よろしくお願いいたします。

この病院の建替え問題というのは、政治問題化一部いたしました。本来であれば政治問題化する問題ではなくて、もっと技術的な問題だと、私は強くこのように思っております。私は、政治的な立場でいけば、紙敷の移転計画・事業を見たときに、1万平米ぐらいの場所で、今より遥かに狭い場所で、250億をかけて、しかも毎年市が支援をしても平成30年、開院後7年で累損が120億まで溜まっていく。こういった医業計画は松戸市にとっても、大変耐えられない計画だと、このように私は思いましたので、この計画には強く反対をいたしました。どうするかということで、市が今まで10年以上かけて色々な検討をしてきた。その検討を色々と読まさせていただきました。そうしたら、原点は現在の病院の1号館から5号館まであるんですけれども、1号館が耐震的に悪くなったということから議論

がスタートしているんですけども、1号館だけ見直すための検討は、どこを見てもされていなかった。その後時間も経っているということで、2号館も大変古くなっておりますので、1号館、2号館両方建て直す案はないかと調べてみましたけれども、これも過去の検討で十分な検討がなされていないということで、私は3号館から5号館まで利用できるものは利用しながら、私達としてはそんなにたくさんお金があるわけではありませんから、利用できるものは利用しながら、この今まで果たしてきた東葛地区の中核病院としての機能を果たす病院を、現地でしっかりと技術的に専門的な視点で、是非検討していただきたいといった視点から、今回皆様方にお集まりいただき、そして大変短い時間でお願いをせざるを得なかったんですが、お願いをいたしました。従いまして、現状で、医師住宅というのがありまして大変古くなっておりまして、この場所も利用していただいて、病院用地としてこの今ある上本郷駅の近くにあるこの病院を松戸市の中核として、是非今後とも使っていける、そういった形で技術的・専門的に検討できないか、こういうことをお願いすることになりました。

私、この問題三つ大きな問題があって、一つは現地でどう建替えていくかという問題が一つ、これは技術的に是非やっていただきたいと思う。もう一つは、建設費用を是非出来るだけ安くしていただきたい。色んな工夫をして安くしていただきたい。このように思っています。それはなぜかというと、この病院スタートした後、金利負担あるいは償却負担が、大きな病院を作れば作るほど大きな金がかかりますので、あと、営業した後に大変大きな負担になりますので、出来るだけそういうことは避けて、競争力のある病院として維持していただきたい。特に一般に言われますように、地方自治体の病院は民間あるいは国立大学とかの付属病院と比べると非常に建設費用が高いと一般的に言われています。いろんな手を考えて安くやっていただきたい、このように思う。もう一つは、経営の問題なんです。建物は出来てもやっぱりそこで、お医者さんとか看護師さんあるいは経営をどうしていくかという問題は大変あるんですが、今回はこれは別のところで議論していただくということ、まず病院内で検討していただくと考えておりますので、最初の一番目、技術的・専門的な見地で現地でどこまで出来るのか、二番目

として出来るだけ建設費用を安くする方法はないのか、ということを是非検討していただきたいと、このように思っております。そのためには色々なアイデアを是非出していただきたいと思います。とりあえず先ほど言った場所で是非検討していただきたいと思っておりますが、必要があればこの病院の周りの土地、駐車場としてたくさんの土地を借りております。そのような土地、あるいは一部の借り増しとか、あるいは法的な問題でこういうことを考えれば、もっといい案ができますよというのがあれば、アドバイスとして後で頂ければと思っておりますけれども、色々な意味で可能性を追求していただきたい、このように思っております。一方でこの問題、非常に長引いた検討をしてきたこともありまして、あんまり結論が遅くなりますと、市民の方も大変不安に思いますので、出来るだけ結論としては遅くとも3月までには市としての方針が決まるような方向で考えておりますので、是非それに合った形で検討していただければ、非常に短い時間での検討になりますけれども、是非全力を挙げてやっていただきたいと思います。こういった市立病院を抱えるということは大変今の時代難しい時代になっておりますけれども、私たちとしては是非この病院を抱えてやっていきたい、こういう決意でおりますので、是非それに対して協力していただければと、このようによろしくお願いいたします。

(3) 委員の紹介

病院建設事務局長

続きまして、次第の3、委員の紹介に入ります。お手数ですが、委員の皆様で自己紹介をお願いしたいと思います。まず、山浦先生からお願いいたします。

山浦委員

山浦と申します。どうぞよろしく申し上げます。ただ今市長さんの言葉を聴いて、大変燃えてきました。私、現在千葉県立保健医療大学に奉職しております

す。その前は千葉大学付属病院の病院長として、既存の 835 床は変えずにアメニティ改善のためにスペースを 2 倍に増やす改築の経験をしております。その程度の経験ですけれども、なんとかお役に立ちたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

病院建設事務局長

ありがとうございました。続きまして、岩堀先生お願いいたします。

岩堀委員

岩堀と申します。よろしくお願いいたします。私は三十数年、病院の建物を設計してまいりまして、7 年ほど前に、今の役割としてご紹介させていただいてます東京医科歯科大学の、MMA と言いましてマスターオブメディカルアドミニストレーション、要するに管理者・幹部教育コースのお手伝いをしております。今までとはちょっと立場を変えて経営者の方に病院建築をよくご理解いただくことということで、大学院の、お手伝いをしてきました。そういう意味では先ほど市長さんもおっしゃいましたけれど、経営者の立場に立って、どういう風に建物のハードを発注するかということを含めて、伊関先生が今日いらっしゃっていませんけど、伊関先生とご一緒に、いくつかの病院を応援してまいりましたが、今回、松戸市立病院に関しても出来る限りお手伝い出来ればと思っております。よろしくお願いいたします。

病院建設事務局長

ありがとうございました。続きまして、伊関先生お願いいたします。

伊関委員

城西大学の伊関と申します。元は埼玉県の職員をやっていて、17 年勤務してました。今は埼玉県坂戸市にある城西大学経営学部の准教授をしております。研究テーマは、行政学で、自治体病院の経営、地域医療の問題を研究しています。

夕張市の医療の再生や、兵庫県の県立柏原病院の小児科を守る会、お母さん方が適切な医療受診をしてですね、医師の負担を減らそうということで、退職を決意した小児科医が病院に残られて、今は小児科医が5名になった病院なんですけれども、そういうところの応援などもしています。病院の建築については、岩堀さんと一緒に岐阜県の下呂市立金山病院で、当初見積もりで100床で30億円という見積もりを出した病院を、それではちょっと経営的に難しいだろうということで、最終的には17億円まで建築費を下げました。その内容は岩波ブックレット「まちに病院を!」という本を書かさせていただきました。たまたまご縁があって松戸市立病院の江原先生と1回お会いしてですね、市立病院で講演をさせていただいたご縁で、今回こちらの方で委員の方で関わらせていただきました。よろしくお願いいたします。

病院建設事務局長

ありがとうございました。続きまして、千葉県の高橋医療整備課長お願いいたします。

高橋委員

高橋と申します。今、千葉県の健康福祉部の医療整備課長をやっております。私のお預かりしている仕事としましては、県内の医療体制の整備、例えば救急医療あるいは周産期医療の体制整備、あるいは自治体病院への支援とか、そのような医療体制の整備の仕事を担当しております。今後ともよろしくお願いいたします。

病院建設事務局長

ありがとうございました。続きまして、松戸市医師会の山口先生お願いいたします。

山口委員

松戸市医師会理事の山口と申します。プライベートの方では内科医院を開業しております。医師会というのは、開業医、あるいはですね、民間病院の集合体でございます。地域の医療というものはですね、一つの病院だけでは決して完結しません。地域の医療の連携というものがなければなりませんので、その中での視点の中で、地域医療の視点の中で、市立病院がどうあるべきかという意見を申し上げていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

病院建設事務局長

ありがとうございました。続きまして、植村病院事業管理者お願いいたします。

植村委員

植村でございます。私はもともと脳外科医でございまして、浜松医大で脳外科の教授をやっておりましたが、定年になった後、一時期岩手県の民間病院が一つ困難な状況になったということで、院長として引き受けて、そこを宮古第一病院として立て直しをやった経験がございます。それからその後、横浜市立脳血管医療センター、非常に内紛で問題が多かったところに依頼をされて、その病院の経営の立て直しその他をやって、それで今回は2年前ですか、松戸市立病院のまづ顧問として、それで去年は1年間総長として病院の経営に多少援助する形で、今回はこの問題が起きてきましたので、私として今までの経験を活かして何らかのお役に立てればと思っております。よろしく願いいたします。

病院建設事務局長

ありがとうございました。続きまして、江原松戸市立病院長お願いいたします。

江原委員

松戸市立病院長の江原でございます。よろしく願いいたします。私は今年の2月に病院長代行として赴任し、4月に病院長に就任し、現在に至っています。そ

れまでは千葉大学第一内科（腫瘍内科）に長いことおりました、そして約2年間、亀田総合病院（消化器内科部長）を経まして、松戸市立病院にまいりました。国立の大学病院と私立病院の両方の病院を経験しております。松戸市立病院は東葛北部の中核病院として、今年で創立60周年を迎えます。この地域で非常に大きな役割を果たしてきたわけでございます。今回このような病院建替計画検討委員会で検討していただきまして、患者さんには当然喜んでもらうと同時に、働く職員にも働きがいがあるような病院に是非していただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

病院建設事務局長

ありがとうございました。続きまして、岩井東松戸病院長お願いいたします。

岩井委員

東松戸病院長の岩井でございます。よろしくお願いいたします。私は、千葉大を出て、その後肺がんの専門家になろうということで、呼吸器外科に入りました。その後、千葉県がんセンターに9年ぐらいいまして、その時にがん医療と緩和医療、そういうことに関わる機会がありまして、7年半前に松戸市立病院に呼吸器外科部長として赴任しました。その中でも一貫してがん医療、呼吸器外科の医療をやりましたけれども、併せてですね緩和医療にも携わってきました。1年半前に東松戸病院に移りまして、そこからですね、やはり地域との連携ということをしごく大切にして、いい連携ができないか、その中で松戸市としていい医療ができないかということを追求して頑張っております。山口先生とも一緒に医師会の会議に参加して、勉強させてもらってますけれども、今ではやはり在宅ケア、あとはその中で公立病院がどう果たしていくべきかということを考えながらやっております。そういう立場から、高齢者医療を含めて意見を述べさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

病院建設事務局長

ありがとうございました。ここではお手元の資料のご確認をさせていただきます。こちらの冊子になっている方でございますけれども、本日の議事次第の下段にある通りですけれども、まず資料の1ページが松戸市立病院建替計画検討委員会設置要綱（案）、それから次が、委員の名簿でございます。それから4ページ、市民公募委員選考基準（案）でございます。5ページは市民公募委員選考作文評価表（案）、6ページが委員会のスケジュール（案）、7ページが松戸市立病院建替計画支援業務委託仕様書、10ページが耐震診断及び構造計算業務委託特記仕様書、15ページが建築設備現況調査業務委託特記仕様書でございます。よろしいでしょうか。

（4）松戸市立病院建替計画検討委員会設置要綱（案）について

病院建設事務局長

続きまして、次第の4、松戸市立病院建替計画検討委員会設置要綱（案）についてお諮りいたします。資料1ページの要綱（案）をお願いいたします。事前に委員の皆様からご意見を頂戴しまして一部訂正しておりますので、再度ここで確認させていただきます。

第1条設置、松戸市立病院の現地建替計画を検討するため、松戸市立病院建替計画検討委員会を設置する。

第2条所掌事項、委員会は次に掲げる事項を所掌する。（1）建替計画の作成に係る調査及び審議に関すること。（2）建替計画の作成に必要な資料の収集及び関係諸機関の調整に関すること。（3）前2号に規定するもののほか建替計画の作成に必要な事項に関すること。

このところで具体的には、委託したコンサルタントに市立病院の診療を続けながらの現地建替プランをいくつか作成していただき、検討委員会でそのプランについて工事中の診療への影響やその経費など、さまざまな角度からの審議をしていただき、その結果をコンサルタントにフィードバックしながら詳細につめて

いただくことを考えております。

続きまして、第3条が組織、ここからは項目だけにさせていただきます。第4条が任期及び補充委員、第5条委員長及び副委員長、第6条会議、それから第7条が専門部会の設置、第8条会議の公開、第9条が庶務、第10条が委任でございます。以上でございますけれど、何かご意見がございましたらお願いいたします。

(意見なし)

病院建設事務局長

特にないようでしたら、委員会の設置要綱はこのように決定したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(5) 委員長及び副委員長の選出について

病院建設事務局長

それでは、ただいま決定いただいた設置要綱によりまして、まず委員長の選出をお願いいたします。どなたか立候補又は推薦をお願いいたします。

山口委員

はい、私、推薦したいと思います。

病院建設事務局長

はい、お願いいたします。

山口委員

これはですね、やはり折角ですね、松戸市の外から学識経験者の先生方をお呼びしていますので、公正性とか中立性ということを考えますと、学識経験者の先生方から選ばれるのがよろしいかと存じます。中でもですね、山浦先生は非常に

色々な大きな病院、大学病院長、大学学長、そういうご経験がありますので、やはり委員長になっていただくのがよろしいかと思えますし、伊関先生はですね、やはり色々な自治体の病院の危機に関して、病院経営という方面から実績がある先生ですから、伊関先生に副委員長になっていただくのがよろしいのではないかと、そういう風に思っています。いかがでしょうか。

病院建設事務局長

はい、ありがとうございます。まずは委員長の方からお諮りさせていただきますけれども、山浦委員を委員長にとのご推薦がありましたけれども、これにご異議ございませんか。

委員一同

異議なし。

病院建設事務局長

ご異議ありませんので、山浦委員が委員長に決定いたしました。続きまして、伊関委員を副委員長にとのご推薦がございましたが、これにはご異議ございませんか。

委員一同

異議なし。

病院建設事務局長

よろしいですか。それでは伊関委員が副委員長に決定いたしました。では山浦委員長、委員長席の方をお願いいたします。山浦委員長、一言委員長のご挨拶をお願いいたします。

山浦委員長

それでは今のご決定によりまして委員長に選ばれました。どうぞよろしくお願

いたします。この要綱に従いまして、これからの議事進行は議長として御役目を果たしたいと思っております。皆さんどうぞ活発な意見をよろしくお願いいたします。

病院建設事務局長

ありがとうございました。では、伊関副委員長ご挨拶をお願いいたします。

伊関副委員長

では、副委員長の仕事を一生懸命やりますので、皆さんよろしくお願いいたします。

(6) 諮問書の伝達

病院建設事務局長

ありがとうございました。それでは委員長、副委員長をご決定いただきましたので、市長から委員長へ諮問書の伝達を行いたいと思っております。

市 長

松戸市立病院建替計画検討委員会委員長 山浦晶様、松戸市長 本郷谷健次、松戸市立病院建替計画について（諮問）、松戸市立病院については、老朽化により1号館の耐震性の問題が指摘され、早期に建替えることが望まれています。現在までにさまざまな検討が行われてきましたが、それらの成果を踏まえ、下記の事項について貴委員会のご意見を賜りたく諮問いたします。記、1、松戸市立病院の現地建替えについての検討・検証、2、松戸市立病院建替計画の検討。以上。よろしくお願いいたします。

山浦委員長

一生懸命やらさせていただきます。

病院建設事務局長

では、申し訳ございませんが、市長は所用のためここで退席いたしますので、ご了承ください。

市 長

よろしくお願いいたします。

病院建設事務局長

では、委員長お願いいたします。

(7) 市民公募委員の選考基準について

山浦委員長

それではこれから、ただいま頂いた諮問書によりますと、所掌のところに全て諮るものが記載されております。今日の予定として第1の議題はですね、市民公募委員の選考基準からご討議頂きたいと思います。これについて、事務局の方からご説明いただけますか。

病院建設事務局長

まず、資料4ページをお願いします。松戸市立病院建替計画検討委員会にかかる市民公募委員選考基準（案）でございます。

まず、1番目の基本的な視点でございますが、「松戸市立病院における医療サービスを受給する生活者（市民）の視点に立って」の部分のところなんです、このところを、「松戸市の地域医療を支える当事者としての市民の視点に立って」と修正をしましてはいかがかのご意見を頂きました。こちらのほう、ご意見のとおり修正をしたいと思っておりますけれども、いかがでしょうか。

山口委員

よろしいかと思えます。

山浦委員長

いかがでしょうか。

委員一同

異議なし。

病院建設事務局長

それでは、1の基本的な視点のところは、ご意見のとおり修正させていただきます。

続きまして、2の審査方法（1）形式審査につきまして、ア、松戸市民であること。イ、年齢要件を満たしていること。20歳以上でございます。ウ、所定の論文を提出したものであること。エ、市職員でないこと。4項目を設定いたしました。これ以外について、何かご意見はございますか。

山浦委員長

いかがでしょうか、4項目。追加すべきことや削除すべきことはございますか。よろしいでしょうか。

委員一同

なし。

病院建設事務局長

ありがとうございます。それでは、形式審査につきましては、原案のとおりとさせていただきます。続きまして、（2）の内容審査でございます。ア、応募に際

し、「松戸市の医療のあり方について」800字以内の作文を課すにつきましては、10月1日の広報に掲載しまして、15日に応募を締め切っています。応募総数は、54件でございました。

続きまして、イ、審査に対して評価項目を設定する、につきましては、「もう一歩突っ込んだ評価視点が必要に思う」、また、5ページに記載の評価表（案）でございますが、記載の配点方法につきましては、「テーマの趣旨に適合して優れた作文でも、評価項目についての記述がなければ0点になってしまう。評価項目ごとに点数を割り振るのではなく、評価する際に考慮すべき視点の例示として例示の項目を増やしつつ、全体で100点満点で総合的に評価してはどうか」とのご意見をいただいております。この辺についてご意見をお願いします。

山口委員

これはですね、市民を代表してこの委員会に出席をしていただくということになるわけですね。前に並んでいますように、莫大な資料があるわけです。これは医療とか財政あるいは建築、非常に多岐にわたることについて議論をしていかなければならないわけです。で、市民として来ていただくんですが、市民の視点というのはどなたをとっても述べることは出来ると思う。問題は、議論に乗れるかどうかということなんです。それをどう評価するかということが評価項目として出てくると思うんですが、先ほどそういうご意見があったと思うんですが、他にもいろんな作文の切り口があると思う。

ですから、これはあくまでも参考程度ということにして、まず1番大切なことというのは、作文の内容が論理性があるかどうかということですね。論理性がある作文であれば、多少知識が無かったとしても、データを見ればちゃんときちんと理解できる。その後の議論に参加することができると思うんです。ですから、まず第一に論理性を見る。例えば、内容がこれこれこうであるから、こうすべきであるというような、最後に結論があったとしますね。ところがその何々だからというところから、こうすべきであるという結論の間に、論理矛盾がある。あるいは論理の飛躍がある。こういう方はですね、やはり、一見ちょっと書いてある

ことが立派に見えたとしても、それはあんまり論理的ではない。あるいは非常に強引なことで議論の場に馴染まないと思う。ですから、まず第一に考慮すべき事は、内容が論理的であるかということであって、その他評価項目というのは、あくまでも例えばその内容に公立病院が担う役割の考えについてとか、医療機関に求めることについて医療全般に対する意見を持っているかについて。これは大切なことです。それは論理性があるかどうかをまず重点に、まず第一に置いて、それにこの評価項目であるようなことは参考としてそれに加算されるようなことだと思う。知識がある、関心がある、そういうことですね。

先ほど述べましたように、全然違う切り口から非常に優れたことをおっしゃる方がいらっしゃるかもしれない。それは加算項目としてやっていく。話がちょっとまとまりがなくなりましたが、とにかくまず論理的文章であるかどうかということを経験に選ぶということであって、評価項目ではなくて参考項目としてこれは挙げるけれども、ここに挙げた参考項目以外についても加算にすると。各委員の先生方がそういう視点に立って、市民公募委員さんを選べばよろしいのではないかと思います。いかがでしょうか。

山浦委員長

ありがとうございます。山口先生のご意見です。論理性について最大の評価を与え、評価項目（資料）は参考にしていただくということ。それから松戸市民の目から見た夢であろうが要求であろうが、それは当然であろうというご意見です。他の方はいかがでしょうか。

伊関委員

建替え自体が可能にしても、相当無理が生じてくる。完璧な案というのは無いので、よりベターなものは何なのかということを考え抜かなければならないし、議論をしなければならない。そこである程度の論理性というのは、山口委員さんが言うように一番重要な要素になるかと。簡単に今の建物のところで出来れば、もうとっくに出来ているわけです。現地で建て替えるにしてもいろんなマイナス

面はあるし、問題が生じてくる。そこをちゃんと分析する、そういう分析力が必要です。

山浦委員長

ありがとうございます。お二人に共通したところは、これから繰り広げられます議論にぜひ乗っていただきたい。論理性を持っていただきたいということではないかと思うんですね。市長さんも言われていましたけれども、既に10年の議論がされている。まだ結論に至っていない。難問題があるかと思imasので、これを議論する上で、市民の方も論理性をもって加わって欲しいと思imas。他にはいかがでしょうか。

高橋委員

山口先生の今のご意見は、論理性を第一にして総合的に評価すべきと。

山口委員

そう。そういうことです。

高橋委員

はい、わかりました。

山口委員

つまり、評価項目を絶対視しないということですね。絶対視すべきは、論理がきちんとした方であるかどうか、そういうことです。

山浦委員長

山口先生の話をもう少し進めて頂きますと、総合的に評価するわけですね、分かりやすく100点満点で話を進めます。そのうち論理性について、大体評価点を何点ぐらいお考えでしょうか。そして参考にすべき3つの項目ですが、それを何

点ぐらいをお考えですか。

山口委員

それはですね、評価項目を何点として加算するかということは、一概に決められないと思います。ですからやはり、首尾一貫しているということ、それを非常に大きく捉えて。それに例えば、100 点に 110 点にしてもいいと思う。加算点として。それで、次のところに入ってしまうんですが、そういうことを総合的に各委員さんが検討した上で、この方が 3 人よろしいんじゃないかという方を選んで頂いて、各委員さんごとに当然考え方、視点が違ってくるから、違うはずです。そういう中で、各委員さんとも一致した丸印の多い方を選べばよろしいのではないのでしょうか。

山浦委員長

総合的にと。

山口委員

総合的にです。

病院建設事務局長

公募委員候補者の 3 番の項目まで進めて頂いているのですが、2 番の内容審査のほうの評価項目につきましては、あくまでも参考程度ということで、まず作文の論理性を基準に考える。それで評価項目について加算をしていただくという考え方で、基本的に 100 点満点の中で、あとは総合点で評価していただくという考え方でございます。

それから、公募者の決定については、上位 3 名の方を皆さんに出して頂いて、この委員会で、その 3 名の中の票が一番多かった方 3 名を委員にするという理解でよろしいのでしょうか。

山浦委員長

今小倉さんがサマライズしてくれましたけれども、それに加わる方あるいは間違いだよというような方はいらっしゃいますか。

岩堀委員

評価項目について勉強不足なんですけど、募集するときに何かこういうことについて書いてあったんですか。

病院建設事務局長

申し訳ありません、入っておりません。

岩堀委員

ということは、評価項目として他にも色々これはいいこと言っているということが出てきますよね。

病院建設事務局長

はい。

岩堀委員

付け加えても。

病院建設事務局長

例示していただければ。

山口委員

私の考えとしては、あくまで例示ということであって、各委員さんがこれはすばらしい視点であるなど思ったら、その委員さんの考えで評価点を高くしてよい

んじゃないかと思います。

岩堀委員

丸印を付けて、3名ほど選ぶ。

山口委員

そうですね。

山浦委員長

小倉さん、今、私初めて知りましたが、募集する時に、何を市民に求めたのか。私ははっきり3つの評価項目は市民の方に表示したのかと。

病院建設事務局長

申し訳ありません。「松戸市の医療のあり方について」という非常に漠然とした、これだけで投げかけております。

伊関委員

基本的には、松戸市の医療のあり方ということについて出てきたものについて、出来た論文についていくつかの視点の中で、それぞれが例示の中でやっぱり100点満点である程度点を付けるという方がいいのかなと。視点があれば、採点の途中で気づいたら、それを言っていていただいで共有すると。

病院建設事務局長

ご意見が頂けるものは、私どもの事務局の方で、もう一度委員さん全員にお送りするような形で対応したいと思っております。

岩井委員

先生、よろしいですか。私まだ全部読みきれていないのですが、市民の方からの作文を拝見しました。それを見て、いったいどういう基準で選んだらいいのかということに悩みながら読んでいたのですが、いろいろ経歴とか作文の内容に関しても、かなり専門性があったり、いろんな今までの経歴の中で、病院ではないにしても建替えを経験したりとか、現地でプラントを建て替えるときにどういう苦勞をしたとか。そういう話も出てきて、そういうある意味、市民の方々にも専門性があると思えました。市長もおっしゃいましたが、現地で建替え、技術的な専門的なことも検討をしていかなければいけないということで、松戸市民の方の経験とか専門性というものも、委員会において重要な意見として取り入れられるんじゃないかと思えました。

ですから、今後のあり方とかいろんなことも、医療のあり方についても大事なんですけれども、せっかくですので市民の専門性というものも、ここに生かせるらいいなと思いつながら読んでおりましたけれども。それをどういう形で取り入れるか議論していただきたいと思えます。

山浦委員長

この委員会は建築の超プロがいらっしゃいますし、医療経済についても超プロがいらっしゃいます。市民の中から、スペシャリティを求めるのも一つの考えかもしれませんが、私個人としては、そこに目標を置いてはいけなかなど。むしろ普通の市民として何を求めていらっしゃるのか、どういうことを希望しているのか。それを知らせてくれるのが3人かなど。貴重なご意見ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

病院建設事務局長

よろしいですか。それでは先ほどと同じ形になりますけれども、作文の論理性を中心に検討をいただき、そこに評価項目として、視点としてお気づきの点がご

ございましたら事務局の方にご一報いただきましたら、事務局の方で、他の委員の方にも共有していただくという形で進めさせていただきたいと思っておりますけれども。それでよろしいでしょうか。

委員一同

はい。

山浦委員長

そうしますと、修正した選考基準をもとに公募委員を選考することといたします。修正後の選考基準を委員の皆様にお送りしますので、それを踏まえて次の委員会で選考をお願いします。

(8) その他

山浦委員長

その他、事務局から何かありますか。

病院建設事務局次長

病院建設事務局次長の真中と申します。宜しく申し上げます。

私のほうから 2 点のご報告とこれからのスケジュール案のご提案をさせていただきますと思います。

はじめに、市民公募委員の募集状況のご報告でございます。今月の 1 日金曜日 から先週の 15 日金曜日まで「広報まつど」や「市のホームページ」にて募集いたしました。男性 42 名、女性 12 名、合計 54 名の方からご応募いただきました。お手元のファイルのほうに、個人情報を除きました応募者一覧表と応募作文の写し等をご用意いたしております。委員の皆様におかれましては、本日ご審議いただきました選考基準を後日お送りさせていただきますので、次回の委員会までにご採点のほうを宜しく願いいたしたいと存じます。なお、応募者一覧表以外の応募作

文の写し等につきましては、松戸市におきまして非開示情報となっておりますことを申し添えさせていただきます。

続きまして、現地建替えプランの策定等にかかります委託業務の進捗状況につきまして、ご報告させていただきます。当該業務につきましては、松戸市立病院建替計画支援業務委託仕様書を事前に皆様にお送りさせて頂き、ご意見をいただきました。ご意見をもとに修正を加えたものを、資料の 7 ページに添付させていただいております。事務局では、この仕様書をもとに、今月 8 日金曜日に公募型指名競争入札の公告をいたし、現在契約課におきまして、入札に向けた準備を進めているところでございます。入札日ですが、来週になります、27 日水曜日。業者が決定いたしますのが、29 日の金曜日となります。

続きまして、今後の委員会の開催のスケジュール案についてご説明をさせていただきます。資料の 6 ページをご覧いただきたいと思っております。委員の皆様には、これから年末にかけて大変お忙しいことであり恐縮に存じますが、年内には一定の方向性を出したいと市長の意向がありまして、6 ページのようなスケジュール案になっております。月 2 回ペースの開催でのご提案でございます。このような事務局案でございますが、いかがでございましょうか。

(委員各位のスケジュール調整)

病院建設事務局長

では、ちょっと確認をさせていただきます。11 月 1 日月曜日が第 2 回目。10 時から開催します。それから 3 回目が、18 日木曜日午後の 4 時からの開催といたします。第 4 回目が 12 月 2 日木曜日午後の 3 時半からと言う事で開催します。第 5 回目が 21 日の午後 2 時からということですが、これでよろしいですか。

委員一同

はい。

病院建設事務局長

ありがとうございます。今後とも委員の皆様にはお世話になりますので、簡単に事務局の方のご紹介をさせていただきたいと思います。

(事務局職員自己紹介)

山浦委員長

それでは、今日は委嘱状の方から始まりまして市長さんのご挨拶がありました。重要なことも難しいことも。

伊関副委員長

ちょっと気になっているのが、病院の医師の皆さんの意向です。だいたいこの病院の建築の先が見えないということで、現場の先生でもやる気を失って、場合によっては辞めちゃおうかという人もいるということを知っているんですけども、現状で医師のみなさんが病院建設に関しての考えがどのような状況にあるのかだけは伺いできればなと思っています。

山浦委員長

今の伊関委員が言いましたように、概要だけでも触りのところを紹介していただけますか。

江原委員

正直申しまして、アンケートを取らせていただいて、現地建替えには7割の方が反対しています。残り3割は保留の方がほとんどで、賛成の方は2名しかいませんでした。今回市長さんが病院に来られて、我々の意見も色々と聞いていただきまして、市長さんも自分の選挙公約に掲げたことと我々職員の考え方が一致しないということを認識されました。このことを踏まえてこの委員会ができて、客観的に皆さんの意見を聞いて決定したいということだと思います。この委員会が

始まりましたので、病院職員は皆、この委員会の結論を見守っているという段階だと考えております。以上です。

山浦委員長

先生ありがとうございました。本当に概略をわかりやすくお話いただきましたけれども、その70%とおっしゃったのは、どんな方を対象に？

江原委員

常勤の医師105名にアンケートを取りまして、約6割の方がアンケートに答えてくれました。それに対して、その7割が現地建替えに反対、ということで常勤の医師の意見でございます。

山浦委員長

常勤の医師ですね？

江原委員

医師です。研修医は含まれておりません。

伊関副委員長

別に結論があるわけじゃなくて、やっぱりこれをきちっと建築の視点から業務委託をきちっと出して、それで検証する。とにかくまずは情報を公開して、専門的な観点から議論することが一番大事だと思います。

あともう1点だけいいですか？

山浦委員長

はい。

伊関副委員長

あと、今回 50 名を越える方から委員の公募があったというのは、やはり市民の皆さんから非常に関心が高いところもあるので、この作文は情報公開の関係から出せませんので、住民が意見を何らかの形で表明する形、例えば公聴会のようなものをこの委員会で開いてですね、意見を述べていただく、そういう機会なんかもあった方がいいのかなと。色々な人の意見を、病院の現場の方々、また市民の皆様、これは何らかの形で設定をして、発言していただく、話を聞くという機会を、これは専門的なものと同時並行であってもいいのかなという風に考えていて、今後の課題としてご検討されるのであれば、おそらく 1 月以降の委員会になると思うんですけども、検討していただければなという感じはしております。

山浦委員長

ありがとうございました。先生のおっしゃる公聴会というのは、この 54 名の？

伊関副委員長

いや、54 名ではなくて、またこれでまた公募して、手を挙げていただいて、54 名に限らず、また別途に市民のみなさんから応募をしていただく。それで、人数次第ですけども、2 分とか 3 分、話を聞くというのがないとですね、委員会の方で一方的に決めたという話も、我々の発言の場がなかったと言われてしまうのも気にはなります。3 名の方はまた別途に市民代表ということで話をさせていただきますけれども、それ以外の方でも色々な発言の場があった方がいいのかなと。これはみんなの合意が取れないと、結局は病院の建築が進まない形になるので、できるだけ色々な意見を聞く場があった方が、最終的には進むのが早いのかなという感じがしています。

山浦委員長

先生、今後、あるいは 1 月頃という風におっしゃいましたけれども、大体我々の方向性が定まって、大体姿が見えてきた頃ですか？

伊関副委員長

大体姿が見えてき始めたくらいの時かな、これは微妙なんですけど、委託のスケジュールは、コンサルタントさんに建設の検討についての委託を出して、上がってくるのはいつくらいなんですかな？

病院建設事務局長

11 日ぐらいにはプランを出していただいて、15 日からの委員会のところ、18 日のところで第 1 回目のプランニングのご議論をしていただく。複数の案が出てまいりますので、その中から一番可能性の高いものを一つ絞りこんでいただいて、それについて今度色々ご意見をいただいたものをもう 1 回コンサルの方で受け止めて、それでまたコンサルの方から出していただいて、もう 1 回皆さんでご意見をいただくという風な形で、キャッチボールをしながらの形で進めていきたいと考えております。

伊関副委員長

1 月以降どんな感じで進むのか、大体 3 月までどんな感じでお考えですか？

病院建設事務局長

まず今のところの私どもの勝手な考え方なんですけれども、まず現地建替えの可否というのを考えていただいて、現地建替えが可能だということであれば、現地建替えの基本計画の策定の方に進んでいただきたいと思います。それから、現地建替えが委員会としてどうだということになりましたらば、逆に今度は、東松戸病院のあり方とか、公立病院の役割・機能の方を検討していただければなど。これは可の場合でも同じように検討いただいて、最終的に 3 月のところで答申をいただければという風な考え方でございます。

伊関副委員長

あまり固まっちゃってからでは遅い話ですよ。かといって、あまり情報が無

いうちでもまたしゃべれない話なので、やはり 1 月から 2 月辺りくらいで、もしも開くというならあってもいいのかなという思いが個人的にはしています。市民の方の色々な反応、意見も必要かなという感じはしています。

山浦委員長

わかりました。伊関委員のご提案ですけれども、これは現在この限りではいついつやりましょうという風に決めるつもりはございません。大体その方向、気持ちを持って進みましょうということで。我々はまだ第 1 歩を踏み出してないわけですね。どの程度のスピードでどの程度順調に進んでいくのか、どの程度困難を伴って進むのかわかりませんので、大体程良い時に市民の皆さんに紹介をして意見を求めようという風にさせていただきます。

病院建設事務局長

事務局の方で、公聴会をどういう形で進めるかということでプランの方は作らせていただきたいと思います。

山浦委員長

一言という方いらっしゃいますか？

岩堀委員

これ（応募作文）は貴重な意見がたくさんあるんですね。公表は出来ないでしょうけど、大きく捉えてお知らせできれば。お礼状だけじゃなくて。大変ですけれども、どなたがどうだというわけではなくて、全体の中で傾向として。

病院建設事務局長

全体的な流れの中での分析したものを事務局の方でまとめさせていただいて。次の委員会でご提示できるか、その次になりますかはわかりませんが、ちょっとその辺で事務局の方で一回分析だけやらさせていただきます。

伊関副委員長

市民の方もどんな意見があったのか絶えず情報公開して、その中で市民の方に考えていただいた方がいいと思います。

岩堀委員

意識として参加していただいたという風にできればと思うんですけども。

山浦委員長

ありがとうございました。最後に大変重要な意見が出たと思います。

植村委員

今、江原先生もちょっと心配しておりましたけれども、公表した時に個人がわからないようにしないとイケない。発言者が特定できないような形でやらないとイケない。

岩堀委員

そうですね。当然です。

山浦委員長

事務局に質問なんですけれども、今日も含めて議事録を作りますよね。それは後で送っていただけるんですか？

病院建設事務局長

議事録は委員さんには出来上がった時点でメールでお送りさせていただきます。

総務企画本部長

議事録の内容についてはどういう風に今考えているかだけ確認した方がいいのでは。

病院建設事務局長

基本的には発言者のお名前までは記載しないで、要点筆記という形で考えております。

伊関副委員長

私は個人的に全文出してもいいのかなと。実名でも。当然傍聴来られてるわけですし、場合によっては録音もされているかもしれないから、本当の非公開な部分というのはあるのかもしれないですけども、それは本当に全部出しちゃってもいいのかなと思いますけど。今日の話では、自分は、論旨が通らない部分はあったかなと思うんですけど、発言して都合の悪いことはありませんので。てにをはを少し直すことはあるのかもしれませんが、逆に公開してしまった方がいいのかなと思います。

病院建設事務局長

委員さんの方でお決めいただければ。

高橋委員

公開というルールの会議であれば、私どもの方は基本的には要約しないで、話し言葉で議事録を作成しています。

岩堀委員

そうしますと、こんなことは自分は言ってないよというようなことがあると思うんですね。

高橋委員

それは事前の議事録を作成する過程で、その発言した人の確認は事務的な範囲としてやっています。

山浦委員長

どうですか？委員の方々。

山口委員

いいと思います。

岩堀委員

意味が通らなくちゃ困るから、その辺は後でちょっと見させていただく。

病院建設事務局長

基本的には全文で発言された委員さんのお名前も含めて全部公開するという形で、私どもの方で出来上がった段階で委員の皆様にも一回確認をさせていただいて、その後公開するという形でよろしいでしょうか。ただ、公募委員の市民の方の部分はどうしようかなという部分はあるんですけども。公募委員の市民の方の発言の場合。

伊関副委員長

でも、やっぱり自分の名前で発言していただかないと。それを了解した上で、やっぱり発言していただくという話になる。どっちにしたって、録音すれば記録に残っちゃいますので。

岩堀委員

本人に確認すればいいですよ。

病院建設事務局長

わかりました。その辺は、私どもの方で、決まりましたならば、公募の方には確認させていただいて、今お話した通りの形で進めたいと思います。

山浦委員長

これで閉会といたします。ありがとうございました。

委員長散会報告

18時18分